

山本地区の熱意うけ設立し50年

山本愛泉保育園 園舎改修、記念式典など記念事業

市内山本2丁目の山本愛泉保育園を運営する社会福祉法人山本愛泉保育園（久保田愛策理事長）が今年で創立50周年を迎えた。同法人では園舎の

改修や感謝礼拝（式典）、記念誌の発行などを行っている。節目を祝うこととしている。

1970年、新興住宅地だった山本町では町内に保育園の設置を求める声があがっていた。同町では十日町幼児園を運営する日本基督教団十日町教会に住民の総意として保育園の開設を要請、建設用地の無償提供を申し出た。これを受け、当時



創立50周年を迎えた山本愛泉保育園と大津園長、久保田理事長、山田昌子主任保育士（左から）

の松井愛美牧師は開設を決意、教会や地元関係者と資金集めに奔走し、1973年に同法人を立ち上げ、翌74年に同園を開園した。

園舎は稲荷神社のすぐそばに建つ。神社の鳥居をくぐって園舎に入るという形は、キリスト教保育を行う保育園としては全国でも珍しいという。山林に隣接する豊かな自然環境の中、1人ひとりの個性を重んじ良いところを伸ばすことに重点をおいたキリスト教保育を展開し、これまでに卒園生705人を輩出。ピーク時には定員いっぱい80人の園児が通ったが、近年は少子化により減少傾向が続き、現在は38人が通園している。

創立50周年記念事業として、記念誌「虹のかけはし」の発行、感謝礼拝（式典）の挙行、園舎の改修、保護者会「花の会」による寄附金活動が計画されている。

園舎の改修は、全保育室を含めた園舎全体の段差の解消、サッシ二重化、エアコン交換・新設、エアコンの効率を上げる熱交換型換気システムの導入を行うもの。保育園での熱交換型換気システムの導入は珍しい。現在改修工事を行っており、今月末に完成予定。総工費4823万円、日本財団助成事業、国庫補助金事業等の支援を受ける。

感謝礼拝とレセプションは来月18日午前10時半から同園ホールで挙行する。関係者約50人が参列予定。

また、11月以降は改修を終えた園ホールを月1回程度、日曜日に地域住民に開放する考えだ。

久保田理事長は「山本地区の皆さんの熱い思いで建った園。私も山本地区の保育園なのだから、このことを大事にしてきた。これからも園児1人ひとり、卒園生も含めて大事にする保育園としてあり続けたい」と、大津富士夫園長は「当園には職員が園児1人ひとりを見られる環境があり、メリットだと思っている。安全面など安心して預けていただける園をこれからも維持していきたい」と思いを新たにしている。

花の会による寄附金活動は、「あいせん50プロジェクト」と題して120万円を目標に寄附を募っている。寄附金は園庭砂場のリニューアル（来月完成予定）費用や花の会の活動費に充てられる。

また、11月以降は改修を終えた園ホールを月1回程度、日曜日に地域住民に開放する考えだ。